



## 新潟県少年自然の家

〒959-2602

新潟県胎内市乙1503番地166

Tel 0254-46-2224 Fax 0254-46-3070

自然の家ホームページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/shizen/>

## 歴史も魅力の一つです

所長 佐久間 義久

新潟県少年自然の家は、今年で開所50年目となります。歴史を重ねることができたのも160万人を超える今までの御利用者様のおかげです。

1年目、昭和48年8月21日に開所式を行いました。5年目からは指導者研修会を始めました。8年目には冒険コースが完成しました。かなりの高さまで登る器具もあり、大人も必死になって挑戦するほどだったそうです。10年目にはカヌー活動が始まります。今も当施設最大のウリです。



13年目には、大人気スポット「ありじごく」を修繕したと記録が残っています。いつでも盛況で、傷みが早ったのでしょうか。17年目に、今も大人気主催事業「チャレンジわんぱく」がスタートします。全3回で、カヌーに登山にスキーまで。今でもボリュームたっぷりです。20年目には肝試しコースを新設しています。暗いコースでのびくびく体験は、忘れられない思い出の一つという方も多いのではないのでしょうか。25年目に主催事業「はつらつ体験塾」を開始します。県の教育課題と正面から向き合う主催事業

として現在も続いています。30年目には利用者が100万人を超えます。48年目には、CLT工法による現在の素晴らしい自然の家が竣工しました。翌年「しばふ広場」がオープンし、グラウンドゴルフ場やキャンプ場として大人気です。そして50年目。感染予防策を積み重ねながら、定番の野外炊さんも再開しました。この50年間で、所員は初代松井所長さんから数えて122人。御利用者様とともに重ねた50年です。

歴史を重ねてきたといえ、赤松の道や遊歩道もその一つ。後援会、地元小中学生のボランティア活動や日々の技術員の手により、いつでもきれいな遊歩道ですが、そこには歴史を感じさせるものが残っています。右写真の左側は、長く使ってきた遊歩道看板です。傷みが激しくなってきたので多くは右側の新看板に替えましたが、数枚はいまだ現役です。下の写真は、今は使わなくなった道です。より楽しい遊歩道を目指



して試行錯誤した結果です。木や草が周囲より少ない様子に、かつては道だった様子が分かります。お越しの際にはぜひ探してみてください。

10月以降は、体験活動が可能な日がまだまだたくさんあります。ドングリ、松ぼっくり拾いだけでもOKです。ぜひ一度、少年自然の家を御体験ください。お越しをお待ちしています。



# 令和3年度 自然の家の通信簿

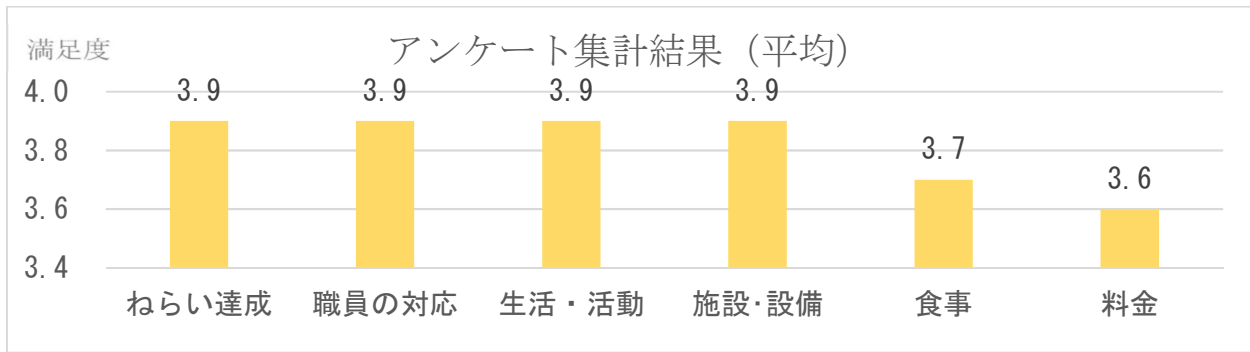


## ＜利用団体アンケートの結果から＞

令和2年度は、県内外より233団体、15,680人の皆さんから当施設をご利用いただきました。ご利用いただいた際にアンケートの記入をお願いしています。施設の今後の運営に役立てていきたいと思っております。アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。

※各設問では、次の1～4段階の中から選択し回答いただきました。

《4-とても満足 3-満足 2-やや不満 1-不満》



### 1 ねらいの達成度 → 3.9 (2年度 3.8)

設問：「今回、自然の家を利用されて、利用のねらいや目的は達成されましたか。」

＜主な回答＞

- 明るく積極的な交流ができてよかったです。人間関係づくりのきっかけができました。(高等学校)
- 素晴らしい活動環境のおかげで、子どもたちの自立・自律する気持ちが高まった。(小学校)
- 使いやすい道具が揃っていて、館内も整備されていて使いやすかった。(小学校)
- 豊かな自然に触れながら野外活動を親子で楽しむことができた。(保育園)
- 遊具の他にドングリ拾いや虫探しなどもできて、とても楽しかったです。(保育園)
- スポーツ活動やキャンドルファイアでチームごとに協力したり楽しんだりすることで仲間意識が向上した。(専門学校)
- コロナの制限のある中での親子の交流、親同士子同士の交流ができた。(保育園)

昨年度も、小学校のほか様々な団体から利用していただきました。今後も各利用団体のねらいが十分に達成できるよう、私たちも少しでもお役に立ち、力になっていきたいと思っております。

### 2 職員の対応 → 3.9 (2年度 3.9)

設問：「少年自然の家職員の対応や指導はいかがでしたか。」

＜主な回答＞

- カヌー体験で手厚い指導をいただき、ありがたかったです。(小学校)
- 笑顔での対応がとてもありがたかったです。(小学校)
- ▲入所の際にチェックリストに沿って説明をしていただきましたかったです。
- ▲事前に伺っていた内容と当日で異なる点がいくつかあったので、共通理解があるとありがたい。
- ▲入所の際、受付や事務室にどなたもいらっしゃらず、打合せや子どもたちの入所が遅れてしまいました。

カヌー活動を行う6～9月につきましては所員も手薄になってしまい、大変ご迷惑をおかけしております。スムーズに対応できますよう、検討・実施してまいります。また、調整会議や事前打ち合わせで確認されたことを全所員で確実に周知してまいります。よろしく願いいたします。

### 3 生活・活動 → 3.9 (2年度 3.8)

設問：「少年自然の家での生活、活動は快適でしたか。」

＜主な回答＞

- 活動内容や時間についてアドバイスしていただいたので、スムーズに活動できました。
- 森の中を歩くという普段なかなか経験しないことができてよかった。

▲きもだめしの地図・コースが分かりにくい。

▲毛虫が多すぎた。

各アクティビティのコースを検討・訂正してまいります。

また昨年度は、例年以上に毛虫が多く発生しました。自然環境の状況の変化も、あかまつ林に生息する生物も大きく影響を与えているようです。害虫などが発生した場合は、所員総出で駆除してまいります。

#### 4 施設・設備 → 3.9 (2年度 3.9)

設問：「屋内外の施設・設備はいかがでしたか。」

<主な回答>

○木のぬくもりを感じるすばらしい施設です（地域）

○林道も非常に整っていて安全でした（中学校）

○施設がきれい。自然のにおいが感じられてとても楽しめました（小学校）

○物品が整理されており、掲示も分かりやすかった（小学校）

○コロナ対応がしっかりとされていた（小学校）

▲夏は日中のシャワーを使わせていただくとありがたいです。

▲オリエンテーリングのコースが蜘蛛の巣だらけだった

▲wi-fiがあるととても助かります。

貴重なご意見ありがとうございます。ご意見をもとに皆様がより快適に利用いただけるよう改善を図ってまいります。

#### 5 食事 → 3.7 (2年度 3.7)

設問：「食事の内容はいかがでしたか。」

<主な回答>

○栄養バランスが考えられており、量も適切であったと思います。（小学校）

○児童の食べる量に対応して下さった。味もとても良かった。（小学校）

○いろいろなメニューが一食の中にあり、目で見ても楽しめ、また美味しくいただきました。（地域）

▲食事時間の調整がうまくいかず、食事に十分な時間を確保することができませんでした。

▲内容は良いが、大盛小盛は聞くと時間がかかる。

アレルギーに関しては、除去食は対応できますが、代替食は対応できません。ご了承ください。

また今年度より、配膳がスムーズに進むようご飯の盛り付けを均等にさせていただくことにしました。お手数をおかけしますが、利用者全員がスムーズに食堂を利用できるよう、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

#### 6 料金 → 3.6 (2年度 3.4)

#### ☆ 満足度 → 97.0 (2年度 96.6)

設問：「利用にあたって、100点満点とした場合、満足度は何点でしょうか。」

<主な回答>

○イベント利用にぴったり。また利用したい。

○事前指導で動画も大変参考になりました。ありがとうございました。

○事前にたくさん連絡を取らせていただきましたが、いつも丁寧に親切に対応していただき、感謝しています。

今年度、YouTube「カヌボチャンネル」や、Twitter「カヌボ@新潟県少年自然の家」にたくさん動画や情報を更新しております。皆様が、利用しやすく少しでも満足していただけるように精一杯努力してまいります。今後とも、忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

#### 令和4年度 少年自然の家 職員

所長	佐久間義久			
次長	諸本 広志			
指導課	村上 敏樹	田原 成久	増子 恭幸	
	天木 享	駒形 誠	星野 貴之	
	草間 淑之			
庶務課	伊藤 和子	小川 佳文	渡邊 幸男	





令和4(2022)年度 新潟県少年自然の家 主催事業一覧

主催事業名	期 日	内 容	募集人数	会 場
利用団体 引率指導者研修会	1 4月26日(火)	令和3年度の利用団体引率指導者研修会で行った、プログラムの作成や団体間のプログラム調整のみを、午後開催で行います。希望する方は、食堂での昼食も行えます。 ※6～9月利用団体引率者は原則参加	6月1日～26日 までの利用団体	新潟県 少年自然の家
	2 5月24日(火)		6月27日～7月17日 までの利用団体	
	3 5月26日(木)		7月18日～8月22日 までの利用団体	
	4 6月23日(木)		8月23日～9月30日 までの利用団体	
プログラム研修会	1 4月18日(月)	令和3年度の利用団体引率指導者研修会で行った、体験活動の説明を行います。	利用団体希望者	新潟県 少年自然の家
	2 6月5日(日)	カヌー活動、焼杉板(かまどを使った活動)を実際に体験していただく研修会です。	70名まで	
チャレンジわんぱく	1 7月30日(土)	自然体験や共同生活体験を通して、積極的に活動する態度を育む、参加者同士で協働することの大切さを学びます。 1:カヌー、野外活動 等 2:登山、野外炊さん 等 3:どんと焼き、スキー 等	県内 小学4～6年生 (全3回参加…35名 各回参加…35名)	新潟県 少年自然の家
	2 9月24日(土)			
	3 1月28日(土)			
自然・ふれあい! 家族のつどい	1 10月22日(土)	季節に応じた新潟県少年自然の家のプログラムを家族で楽しみ、絆を深めます。	家族25組 (70名程度)	新潟県 少年自然の家
	2 10月23日(日)			
家族で カヌーに親しもう	1 8月5日(金)	カヌー活動を通じ、家族で水上スポーツの楽しさを体感します。 ※小学生の体験は4年生以上です。	各部(6回)とも 小学4年生以上の 家族参加 30名程度	新潟県 少年自然の家 カヌー艇庫
	2 8月6日(土)			
	3 8月7日(日)			
一緒に泊まり キャンプinたいない	1 11月5日(土)	自然体験活動や異年齢集団による生活体験活動を通して、体験活動の楽しさや集団生活のルールを学びます。	園児(年中・年長)20名とその 保護者合計50名程度 ※園児の兄弟(小学生2年生まで) での参加も可能	新潟県 少年自然の家
はつらつ体験塾	ミニ 5月8日(日)	不登校・不登校傾向にある児童生徒に、自然体験活動や宿泊体験を通して集団への適応性や人間関係作りの資質を高められるよう、自立を支援します。 『キャンプについて』 下記の3つのキャンプがあります。 ①ミニキャンプ 日帰りの日程で気軽に参加できます。大人(保護者や担任の先生、適応指導教室の先生等)も一緒に参加することができます。 ②FC(フレンドリーキャンプ) 参加者が人間関係を結んだり、深めたりできるようなプログラム内容で活動します。 ③CC(チャレンジキャンプ) 参加者が自主性・積極性を高められるようなプログラム内容で活動します。	『ミニキャンプ』 県内小中学生 20名程度+大人  『FC・CC』 県内小中学生 30名程度	新潟県 少年自然の家  五頭連峰 少年自然の家  雨津地区公民館  新潟県 少年自然の家
	FC 6月11日(土)			
	CC 7月16日(土)			
	ミニ五頭 8月21日(日)			
	ミニ佐渡 9月18日(日)			
	ミニ 11月13日(日)			
	FC 12月17日(土)			
CC 1月21日(土)				
ハートフル ドリームキャンプ	12月3日(土)	多忙のため、親子で活動する機会の少ない、ひとり親家庭に自然体験活動や創作活動を楽しむ機会を提供します。	25家族50名程度	新潟県 少年自然の家 他
大人のアウトドア体験教室	HPにて 開催日掲載	少年の自然の家にある豊かな自然の中で活動することで、普段味わえない体験ができます。	成人(高校生を含む) 35名程度	新潟県 少年自然の家
国際交流キャンプ	10月8日(土)	来県している留学生と新潟県内の中高生が、異なる文化、習慣、言葉をもつ留学生と出会い、触れ合い、様々な体験をすることで、互いに理解を深めます。	県内の中高生および留学生 60名程度	新潟県 少年自然の家
所長杯 グラウンド・ゴルフ大会	HPにて 開催日掲載	グラウンドゴルフを通して、参加者の健康増進を図り、親睦を深めます。	60名程度	新潟県 少年自然の家
中学生 リーダーシップ研修	2月25日(土)	新たな生徒会役員として、活動する中学生の基礎作りをしていきます。また、さまざまな地域の学校と交流する中で、新しい発見をすることができます。	県内中学校生徒会役員 80名程度	新潟県 少年自然の家
自然の家職員が 出前指導します!	6～9月を除く随時 (地域は下越・新潟地区)			

今年度も引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止対策を最大限に行い、事業を進めて参りますが、今後も予定の変更がある場合、ホームページや広報を通して連絡いたします。これからも、当所をご利用お願いいたします。